

## 第5回 岡山県後発医薬品の 安心使用のための協議会について

講演日時: 2022年6月17日(金) 14:00~15:30

場 所: WEB形式(ZOOM)

講 師: 田中 俊幸(日本ジェネリック製薬協会 広報委員会委員長)

概 要: 協議会委員として「ジェネリック医薬品に対する信頼の回復」に向けた日本ジェネリック製薬協会の取組みについて②)について説明(※1月開催に続いて2回目)

### ①協会からの説明後に頂いた意見

- 医薬品が不足していることについて、とある記事で現場の医療機関側において、特に大手医療機関が過剰に発注して在庫を取り込んでいるという内容を拝見したが、そういう問題は実際にあるのだろうか。
- 今回、発生している問題の根幹は何と考えるか。日医工や小林化工の不祥事が起き、関連の製品の供給が滞ってしまい、他のメーカーの生産が追い付いていないと考えてよいのか。
- 本日のお話を伺って感じたこととして、GMPやGQPなど守らなければならないことがあるのは当然だが、守ることができない原因は、人の手によるものなのか、システム上の問題なのか、どちらと考えるか。医薬品という品質を担保しなければならないものを、買い叩いてしまうことにも問題があるのではないだろうか。適正な価格で適正な購入をして、製薬メーカーもきちんとした利益で制度を構築することも必要なのではないか。決してメーカーだけが悪いのではなく、購入する側も考えて同じ歩調で取り組んでいかないと解決しないのではないか。

### ②協議会の中で出た気になるご意見

- 休日・夜間診療所で使用する医薬品はジェネリック医薬品でよいのではないか。廃棄が多くもったいない。
- 現在、先発品もジェネリック医薬品も供給不安が起きていて困っている。そこでいろんな問題が起きたことで、医師の間でも不安を感じていた。当初は、本協議会にも参加する気にはなれなかった。ただ、最近のGE薬協担当者の取組みもあってか、不安感は少なくなってきている。今までのジェネリック医薬品に対する信頼に戻る日も近いのでは、と期待している。

(広報委員会)